

議員活動を把握するためのアンケート  
調査結果について

**【目的】**

浜松市議会議員定数のあり方調査会において、議員定数を適正に判断するための議論を円滑に進めるため、議員と地域（住民）のつながりを把握し、議員活動の実態を掴むためアンケート調査を実施した。

**【実施期間】** 令和6年4月3日～4月30日

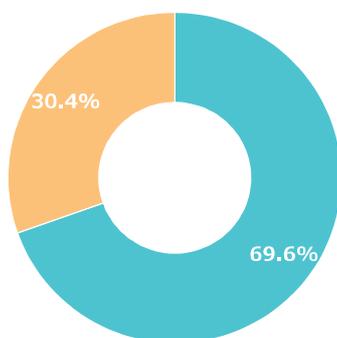
**【対象】** 浜松市議会議員 46人

**【目次】**

属性	P1～
設問	P4～
区ごとのクロス集計	P23～

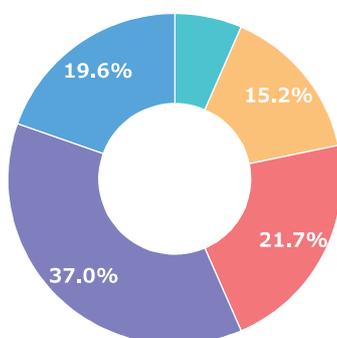
## 議員活動を把握するためのアンケート【属性】

### \* 1 性別 (46)



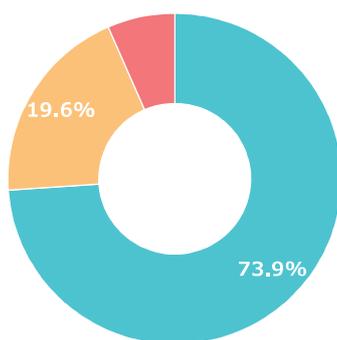
■ 男	32 (69.6%)
■ 女	14 (30.4%)

### \* 2 年齢 (46)



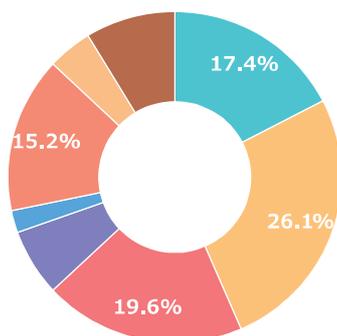
■ 30代	3 (6.5%)
■ 40代	7 (15.2%)
■ 50代	10 (21.7%)
■ 60代	17 (37.0%)
■ 70代	9 (19.6%)

\* 3 居住区 (46)



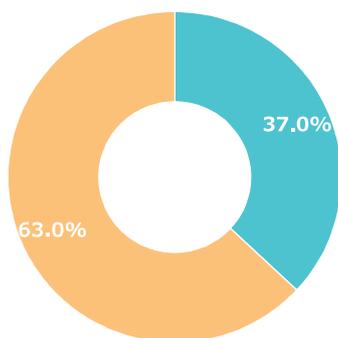
■ 中央区	34 (73.9%)
■ 浜名区	9 (19.6%)
■ 天竜区	3 (6.5%)

\* 4 通算議員歴 (合併前を含む) (46)



■ 1~4年	8 (17.4%)
■ 5~8年	12 (26.1%)
■ 9~12年	9 (19.6%)
■ 13~16年	3 (6.5%)
■ 17~20年	1 (2.2%)
■ 21~24年	7 (15.2%)
■ 25~28年	2 (4.3%)
■ 29年以上	4 (8.7%)

\* 5 兼業の有無 (46)



■ あり

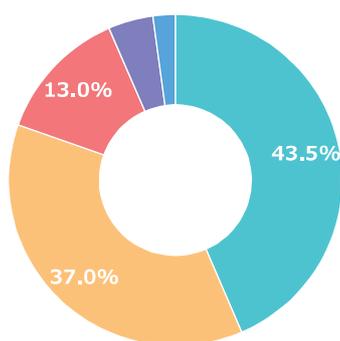
17 (37.0%)

■ なし

29 (63.0%)

## 議員活動を把握するためのアンケート【設問】

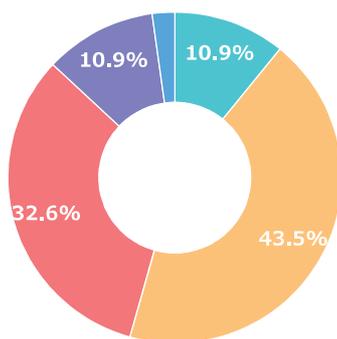
\* 1 議員として、主な活動範囲を教えてください。 (46)



市域	20 (43.5%)
区域	17 (37.0%)
区域の一部 (地区)	6 (13.0%)
中学校区	2 (4.3%)
小学校区	1 (2.2%)

「市域」と答えた人が20人(43.5%)と最も多く、次いで「区域」と答えた人が17人(37.0%)、「区域の一部(地区)」と答えた人が6人(13.0%)となった。

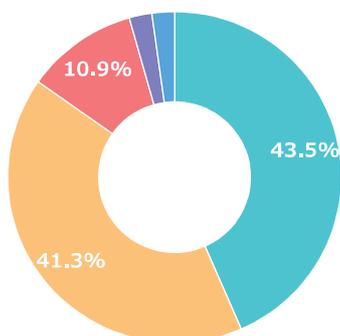
\* 2 議員として、政務活動時間はどのくらいですか。【平日】 (46)



■ 4時間以内	5 (10.9%)
■ 5～6時間	20 (43.5%)
■ 7～8時間	15 (32.6%)
■ 9～11時間	5 (10.9%)
■ 12時間超	1 (2.2%)

「5～6時間」と答えた人が20人(43.5%)と最も多く、次いで「7～8時間」と答えた人が15人(32.6%)となり、合わせると7割(76.1%)を超えている。

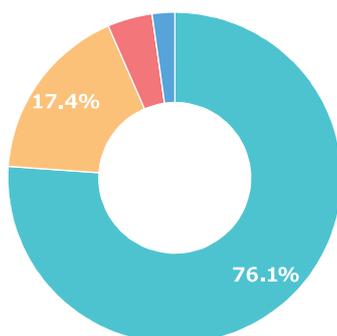
\* 2 議員として、政務活動時間はどのくらいですか。【土日祝】 (46)



■ 4時間以内	20 (43.5%)
■ 5～6時間	19 (41.3%)
■ 7～8時間	5 (10.9%)
■ 9～11時間	1 (2.2%)
■ 12時間超	1 (2.2%)

「4時間以内」と答えた人が20人(43.5%)と最も多く、次いで「5～6時間」と答えた人が19人(41.3%)となり、合わせると8割(84.8%)を超えている。

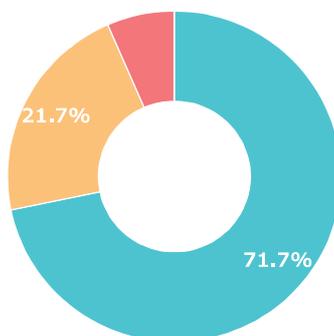
\*3 議員として、政治活動時間はどのくらいですか。【平日】 (46)



■ 4時間以内	35 (76.1%)
■ 5～6時間	8 (17.4%)
■ 7～8時間	2 (4.3%)
■ 9～11時間	0
■ 12時間超	1 (2.2%)

「4時間以内」と答えた人が35人（76.1%）おり、7割を超える結果となった。

\*3 議員として、政治活動時間はどのくらいですか。【土日祝】 (46)



■ 4時間以内	33 (71.7%)
■ 5～6時間	10 (21.7%)
■ 7～8時間	3 (6.5%)
■ 9～11時間	0
■ 12時間超	0

「4時間以内」と答えた人が33人おり、平日と同じく7割（71.7%）を超える結果となった。

\* 4 ①地域活動等は年間何日行っていますか。(46)

最大360日、最少1日、平均103.4日、合計4,756日

市議会議員が地域活動等に費やす日数は、議員全体で年間4,756日あり、議員1人当たりの平均日数は103.4日となった。ちなみに、最大日数は360日で、最少日数は1日であった。

\* 4 ②また、月平均時間を分かる範囲でお答えください。(46)

最大160時間、最少2時間、平均27.9時間

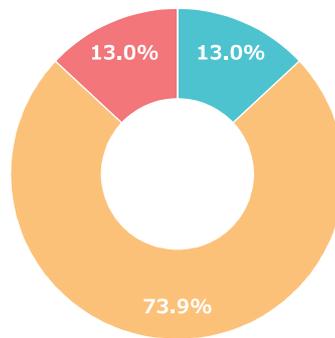
市議会議員が地域活動等に費やす時間について、月の平均時間は27.9時間となった。ちなみに、最大時間は160時間で、最少時間は2時間であった。

\* 4-1 それはどんな活動ですか。以下の分野からお答えください。(複数回答可) (46)

自治会	35 (76.1%)
社会福祉	27 (58.7%)
清掃	15 (32.6%)
自主防災	20 (43.5%)
消防団	13 (28.3%)
防犯	3 (6.5%)
子育て支援	18 (39.1%)
学校関係 (PTA等)	20 (43.5%)
交通安全	17 (37.0%)
動物愛護	3 (6.5%)
自然保護	6 (13.0%)
環境美化	21 (45.7%)
スポーツ振興	25 (54.3%)
<b>地域イベント</b>	<b>38 (82.6%)</b>
災害ボランティア	7 (15.2%)
学習支援	5 (10.9%)
外国人支援	1 (2.2%)

地域活動等として多かった内容は、「地域イベント」が38人(82.6%)と最も多く、次いで「自治会」が35人(76.1%)、「社会福祉」が27人(58.7%)、「スポーツ振興」が25人(54.3%)となった。

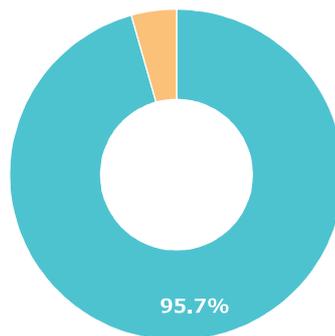
\* 5 設問 2～4 の活動がない休息日は、月にどのくらいとることができますか。(46)



■ 0日	6 (13.0%)
■ 1～4日以内	34 (73.9%)
■ 5～8日以内	6 (13.0%)
■ 9日以上	0

「1～4日以内」と答えた人が34人(73.9%)、「5～8日以内」と答えた人が6人(13.0%)となった。なお、「0日」と答えた人も6人(13.0%)いた。

\* 6 議員として重きを置いて取り組んでいることはありますか。(46)



■ ある	44 (95.7%)
■ ない	2 (4.3%)

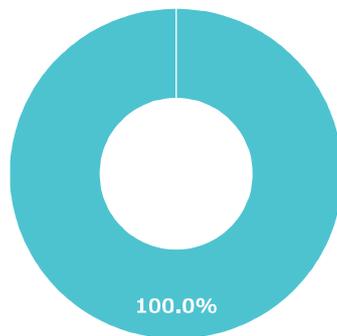
「ある」と答えた人は、44人(95.7%)となった。

6-1 「ある」と答えた人に伺います。その取組テーマは何ですか。（上位3つまで回答可能）（44）

子ども	18 (40.0%)
福祉	17 (37.8%)
環境	3 (6.7%)
道路・河川	18 (40.0%)
農林水産業	6 (13.3%)
学校教育	12 (26.7%)
人権	1 (2.2%)
消防・防災・防犯	10 (22.2%)
文化・スポーツ	10 (22.2%)
芸能・芸術	1 (2.2%)
動・植物	2 (4.4%)
過疎	1 (2.2%)
観光C P	3 (6.7%)
上下水道	0
健康・医療	3 (6.7%)
まちづくり	9 (20.0%)
労働・雇用	0
公共交通	4 (8.9%)
地域活性化	14 (31.1%)
行財政	1 (2.2%)
国際交流	1 (2.2%)
生涯学習	1 (2.2%)

「子ども」と「道路・河川」が共に18人（40.0%）と最も多く、次いで「福祉」が17人（37.8%）、「地域活性化」が14人（31.1%）と続く結果となった。

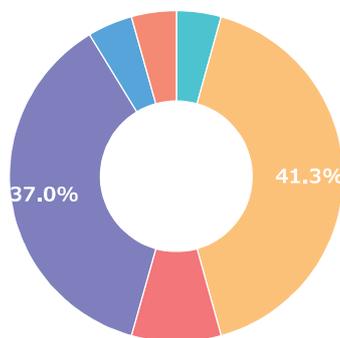
\*7 市民や企業・団体等と意見交換の機会を設けていますか。(46)



設けている	46 (100.0%)
設けていない	0

全ての議員が「設けている」と答えた。

7-1 「設けている」と答えた人に伺います。そうした機会は、どのくらいありますか。(46)



年に1回	2 (4.3%)
年に複数回	19 (41.3%)
月に1回	4 (8.7%)
月に複数回	17 (37.0%)
週に1回	2 (4.3%)
週に複数回	2 (4.3%)

「年に複数回」と答えた人が19人(41.3%)と最も多く、次いで「月に複数回」と答えた人が17人(37.0%)おり、合わせて約8割(78.3%)を占める結果となった。

7-2 「設けている」と答えた人に伺います。主に対象は誰ですか。（複数回答可）（46）

支援者	40 (87.0%)
<b>自治会関係者</b>	<b>41 (89.1%)</b>
若者（学生を除く）	6 (13.0%)
学生・生徒・児童	4 (8.7%)
主婦・主夫	7 (15.2%)
企業	13 (28.3%)
団体	27 (58.7%)
その他	7 (15.2%)

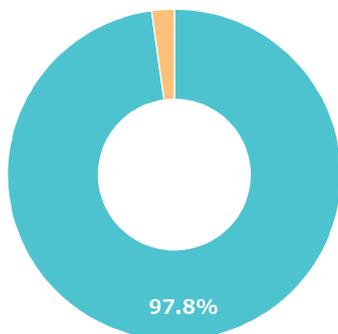
「自治会関係者」の41人（89.1%）と「支援者」の40人（87.0%）が突出して多い結果となった。高い水準を維持する自治会加入率が影響している可能性がある。  
※自治会加入率 94.4%（2023年4月1日現在）

7-3 「設けている」と答えた人に伺います。そのときのテーマや内容を教えてください。（複数回答可）（46）

議員活動	23 (50.0%)
<b>市政情報</b>	<b>41 (89.1%)</b>
<b>地域課題</b>	<b>41 (89.1%)</b>
相談聴取	31 (67.4%)
意見交換	31 (67.4%)

「市政情報」と「地域課題」と答えた人が41人（89.1%）ずつと最も多く、次いで「相談聴取」と「意見交換」と答えた人が31人（67.4%）ずつとなっており、「議員活動」と答えた人は23人（50.0%）であった。

\* 8 設問7以外の方法で、議員活動を情報発信していますか。(46)



■ している	45 (97.8%)
■ していない	1 (2.2%)

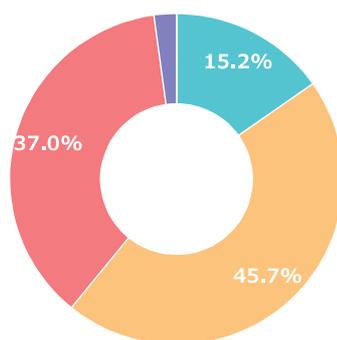
「している」と答えた人は、45人(97.8%)となった。

8-1 「している」と答えた人に伺います。活用しているツールを教えてください。(複数回答可) (45)

広報紙	24 (53.3%)
<b>SNS</b>	<b>31 (68.9%)</b>
会報	25 (55.6%)
折り込み広告	17 (37.8%)
ラジオ放送	8 (17.8%)
テレビ番組	0
街頭演説	13 (28.9%)
その他	0

「SNS」が最も多く31人(68.9%)、次いで「会報」が25人(55.6%)、「広報紙」が24人(53.3%)、「折り込み広告」が17人(37.8%)と続く結果となった。

\* 9 市民等からの相談はどのくらいありますか。(46)



■ ほぼ毎日	7 (15.2%)
■ 週に数回	21 (45.7%)
■ 月に数回	17 (37.0%)
■ 年に数回	1 (2.2%)
■ ほぼない	0

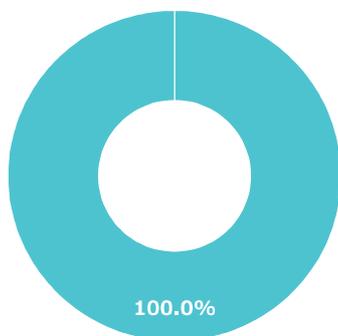
「週に数回」と答えた人が21人(45.7%)と最も多く、次いで「月に数回」と答えた人が17人(37.0%)となっており、合わせて8割(82.6%)を超える結果となった。

\* 9-1 相談がある時は、どんな内容が多いですか。(複数回答可) (46)

福祉	33 (71.7%)
ごみ	18 (39.1%)
<b>道路</b>	<b>41 (89.1%)</b>
環境美化	13 (28.3%)
教育	29 (63.0%)
地域交通	29 (63.0%)
防災	29 (63.0%)
防犯	3 (6.5%)
子育て	28 (60.9%)
空き地・空き家	18 (39.1%)
地域イベント	25 (54.3%)
動・植物	8 (17.4%)
騒音	5 (10.9%)
不法投棄	6 (13.0%)
文化財	5 (10.9%)
スポーツ	17 (37.0%)
上・下水道	5 (10.9%)
消防	4 (8.7%)
医療	12 (26.1%)
税金	7 (15.2%)

「道路」と答えた人が41人(89.1%)と最も多く、次いで「福祉」が33人(71.7%)、「教育」と「地域交通」が各29人(63.0%)、「子育て」が28人(60.9%)、「地域イベント」が25人(54.3%)の順となっており、地域それぞれの事情が垣間見える結果となった。

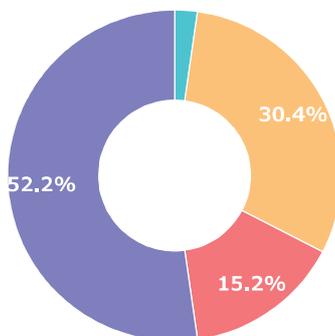
\* 10 市民等からの相談がきっかけとなり、市に対する要望・請願・陳情・改善・政策提言・議会質問・委員会質疑につなげたことがありますか。(46)



■ ある	46 (100.0%)
■ ない	0

全ての議員が「ある」と答えた。

10-1 「ある」と答えた人に伺います。それは、どれくらいですか。(46)



■ 1回	1 (2.2%)
■ 複数回	14 (30.4%)
■ 十数回	7 (15.2%)
■ 二十回以上	24 (52.2%)

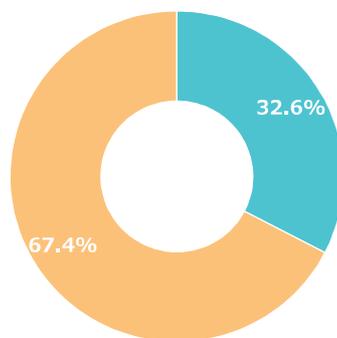
「20回以上」と答えた人が24人(52.2%)と最も多く、「複数回」と答えた14人(30.4%)を合わせると8割(82.6%)を超える結果となった。

10-2 「ある」と答えた人に伺います。それは、どんな内容ですか。（複数回答可）（46）

福祉	30 (65.2%)
ごみ	17 (37.0%)
<b>道路</b>	<b>40 (87.0%)</b>
環境美化	16 (34.8%)
教育	35 (76.1%)
地域交通	21 (45.7%)
防災	27 (58.7%)
防犯	5 (10.9%)
子育て	26 (56.5%)
空き地・空き家	17 (37.0%)
地域イベント	14 (30.4%)
動・植物	10 (21.7%)
騒音	5 (10.9%)
不法投棄	4 (8.7%)
文化財	12 (26.1%)
スポーツ	17 (37.0%)
上・下水道	6 (13.0%)
消防	14 (30.4%)
医療	15 (32.6%)
税金	4 (8.7%)

「道路」と答えた人が40人（87.0%）と最も多く、次いで「教育」が35人（76.1%）、「福祉」が30人（65.2%）、「防災」が各27人（58.7%）、「子育て」が26人（56.5%）の順となった。

\* 11 市民等から、地域の声が行政に届きにくくなったという声を聞いたことがありますか。(46)

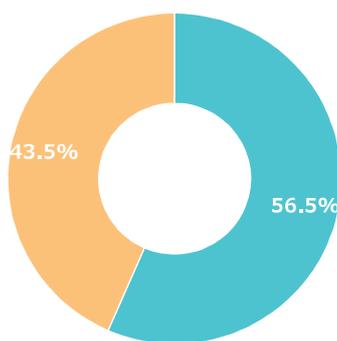


■ ある	15 (32.6%)
■ ない	31 (67.4%)

「ない」と答えた人が31人(67.4%)であるのに対し、「ある」と答えた人は、15人(32.6%)であった。特に「ある」と答えた人の多くは、浜名区と天竜区に居住をしている。

※設問11の区ごとの詳細は23ページに掲載

\* 12 市民等から議員活動がわかりにくいという声を聞いたことがありますか。(46)

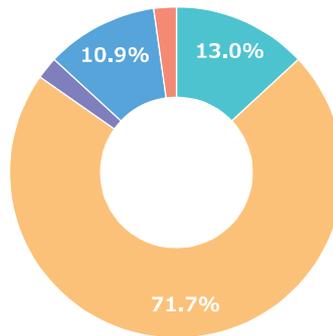


■ ある	26 (56.5%)
■ ない	20 (43.5%)

「ある」と答えた人が26人(56.5%)であるのに対し、「ない」と答えた人も20人(43.5%)いることがわかった。

※設問12の区ごとの詳細は26ページに掲載

\* 13 住民の代表として、その役割を果たしていると思いますか。(46)



■ 大いに果たしている	6 (13.0%)
■ 概ね果たしている	33 (71.7%)
■ あまり果たしていない	0
■ 果たしていない	1 (2.2%)
■ 努力はしている	5 (10.9%)
■ わからない	1 (2.2%)

「大いに果たしている（6人）」と「概ね果たしている（33人）」を合わせると、果たしていると答えた人は39人（84.8%）であり、8割を超えている。

\* 14 住民代表として役割を果たすために、心がけていることを上位3つあげてください。(46)

個別相談に応じる	19 (41.3%)
地域活動に協力する	11 (23.9%)
地域課題を把握する	24 (52.2%)
<b>地域課題を解決する</b>	<b>28 (60.9%)</b>
住民から意見を聴き取る	15 (32.6%)
住民と行政の橋渡しをする	25 (54.3%)
地域を活性化する	8 (17.4%)
情報を積極的に発信する	7 (15.2%)
その他	1 (2.2%)

「地域課題を解決する」と答えた人が28人（60.9%）と最も多く、次いで「住民と行政の橋渡しをする」が25人（54.3%）、「地域課題を把握する」が24人（52.2%）、「個別相談に応じる」が19人（41.3%）の順となった。

\* 15 今後、浜松市議会が積極的に取り組まなければならないことは何だと思えますか。  
(複数回答可) (46)

市に対する監視機能の強化	16 (34.8%)
<b>市政への活発な政策提言</b>	<b>44 (95.7%)</b>
議会の政策立案機能の充実	30 (65.2%)
議会改革の徹底	14 (30.4%)
広聴・広報機能の充実	30 (65.2%)
コストの削減	7 (15.2%)

特に多かったのは、「市政への活発な政策提言」と答えた人で、全体の44人(95.7%)にのぼった。次いで多かったのは、「議会の政策立案機能の充実」と「広聴・広報機能の充実」と答えた人で、各30人(65.2%)となっている。

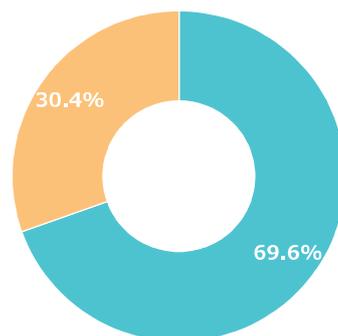
\* 16 議員報酬と活動時間について、どのような考えを持っているか教えてください。(自由記載)

- ・ 議員報酬は現状のままでよい。(複数回答)
- ・ 政令市の報酬は高いと言われるが、期数や役職に応じて全く差はなく、費用弁償もない。活動は個人によって差があり、フットワークよく多忙になればなるほど比例して費用がかかる。決して高くない。むしろ少ないと感じる。
- ・ 質の高い議員を増やすためには、議員報酬や議員が個人で使える政務活動費を増やすべきと考える。そのことで選挙が無かった選挙区で選挙が行われたり、立候補者が増えることでの議員の質が高まることを期待した。
- ・ 議員報酬については、他の同規模政令市と比べても低いのではないかと。活動時間は、日々バラバラであるが、長時間の活動になることが多い。また、活動ではないが、帰宅してからも情報収集など地域のことや議会のことを考えている時間が多い。
- ・ 報酬と活動時間は比例するものではないと思うが、現状の報酬は議員活動の実態に則していないと考える。
- ・ 議員報酬が、静岡市と比べ差が大きいことが気になる。
- ・ 活動中はもちろん、活動時間外でも意識や態度は常に議員として過ごしているため、単純に、時給で換算できるものではない。議員報酬が下がれば議員の成り手不足に陥る。
- ・ 設問15のような議会にするには、報酬をあげ、人数を減らしても良い。地域活動や市民の声を聞くことに重点を置くならば、報酬を減らし、議員定数を増やすべきだが、そうであれば地域活動を担う職員を増やせば良いと思う。
- ・ 活動内容も時間も、議員格差があり、働かない議員には、現在の報酬は高すぎる。無理は承知だが、能力給、実績給にするべき。頑張るだけ割に合わない。
- ・ 648,000円に恥じない活動をしている自負はあるが、休みが取れない、取らないことを仕事ができる議員として評価されてしまうのが課題だととらえている。
- ・ 活動時間や内容に対して、報酬は十分ではないと思う時もあるが、不満ではない。
- ・ 活動時間や活動内容からすると報酬としては少ないと考えるが、やりがいと考えている部分が多いので自分には適正であるとする。
- ・ 議員報酬についての不満はないが、任期中はずっと市議会議員として資料収集やその活動について考えているので、活動時間と議員報酬の関連性を結びつけることは妥当ではないと考える。

\* 17 政務活動費についてどのような考えをもっているか教えてください。（自由記載）

- ・現状維持、現状で不足はない。（複数同意見）
- ・柔軟に金額を変更することが難しいのは分かっているが、物価が高騰するなか、同じ金額のままであるのが疑問。使用範囲や運用方法については、再検討が必要な項目もあると思う。
- ・現在でも持ち出しで支出している部分がある。
- ・通信費の範囲には不満がある。
- ・使用できる政務活動の範囲を十分に理解していなかったため、本来であれば請求できたものがあった。
- ・現在の額では、調査の外注や十分な視察、調査ができない。また、費用弁償がなくなったため、市役所から遠方となる議員の移動実費や、広域で活動する議員にとっては、交通費の割合が高くなり、調査費用を削っているか、交通費等を実費で支払って対応している。また、個人に割り当てられている政務活動費を、個人割り与会派割りに分けて、会派を構成する人数によって、政務活動費をあげる仕組みが必要。
- ・政務活動費は現在会派の活動となっているが、一人会派は個人の政務活動＝政治活動とも重なる部分があり、不公平と言わざるを得ない。個人の政務活動も基準や必要なら監査の仕組みを設けて認めるべきである
- ・政務活動費は他の政令市と比較して少ない。議会活動を支えるためにも増額を求めたい。個人割当分は毎年使い切っており、調査勉強、ラジオ等々で不足感が否めない。
- ・政務活動費については、まだ使い切れていないので何ともいえない。ただ、視察などの交通費など使い方に制約があるので使いにくいところもある。
- ・議員活動を豊かにするためにも、調査研究を更に深めていきたいと思うので、現状の政務活動費については増額が必要と考える。按分を取り入れ、もっと柔軟に使いやすくすべき。名刺や個人の会報にも使いやすくしたい。
- ・パソコンなど按分ができるといい。
- ・使用用途を広げて頂くことにより政務活動がしやすくなると思う。また、視野を広げるためには政務活動費は大いに必要であると思う。
- ・他議会と比較して使いづらい設計になっている。
- ・静岡市と比べて差が大きい事に疑問を感じる。
- ・政務活動費は資料や書籍の購入にも充てることができありがたいと思うが、もう少し潤沢であれば、議員としての視野や見聞を広めるための視察などもっと充実させることができるのではないかと考える。

\* 18 政党に所属していますか。（46）



■ いる	32 (69.6%)
■ いない	14 (30.4%)

「いる」と答えた人が32人（69.6%）おり、全体のほぼ7割を占める結果となった。

**\* 18-1 「いる」と答えた人に伺います。その理由と、党務の量について教えてください。**

- ・もともと党員だから。
- ・国や県との連携が可能だから。選挙がなければ、数ヶ月に1度県の会議に出る程度。国への要望等パイプは必要。
- ・国や県への政策要望、予算要望をつなげ、実現性が高い活動とするため。党務は年間で15日程度（選挙除く）
- ・国政も地方政治も政党と無関係ではいられない。政務9割、党務1割。
- ・市政だけでは解決できない課題を国政や県政と繋がることで、要望活動を通して実現できることがある。
- ・政党に所属している地域の方々から議員の要請を受けたから。現在の党務の量は多くない。
- ・政党の理念に沿って議員活動をしている。議員活動を優先しているので負担になるような党務はない。
- ・国や県からの補助を受ける為には所属していた方が有利であるから。
- ・市、県、国とつながることにより住民の意見を届けることができるから。党務の量は選挙があるかないかによって大きく変わる。
- ・党の理念に共感しているから
- ・国、県との連携が可能。それが地域のためになると考えるので。
- ・組織の要請において支援されているため。党活動には、支部会開催など様々な仕事がある。
- ・政党に所属することで、同じ党に所属する県や国の議員たちと情報交換をすることもでき、浜松市としての実態や要望を届けることもできる。党務の量はさほど多くはない。
- ・政党に公認されて市議会議員として活動している。議員の仕事のうち党務の量は1/4程度。
- ・市政に関することのほとんどは、国からの施策による。政党にいるからこそ、連携し市民の福祉の向上に大きく貢献することができる。
- ・目指すものや考え方を共有できることで、課題解決につながっていく。
- ・県、国へ政策を届ける必要性を重視し、自由民主党に所属している。

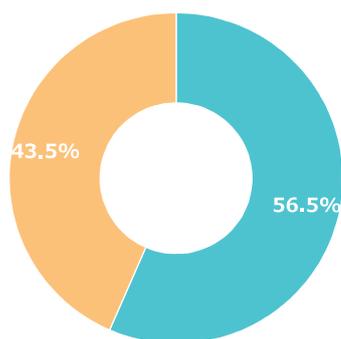
**\* 18-2 「いない」と答えた人に伺います。その理由と、国・県や他地域の議員などとの連携方法を教えてください。**

- ・政党に入りたいと思わない。政党に関係なく、知り合った議員と連絡を取る。
- ・市議は中立な立場で活動すべきと考えているため。
- ・国や県との連携は、支援団体を通じて行っている。
- ・所属したい政党がない、必要性を感じない。政策テーマよって（ジェンダー、環境など）国や県、他地域の議員との連携は色々ある。
- ・所属はしていないが、個別に国や県との連携は図れている。
- ・市民のための議員を信念に、政党や人を選ばず誰にでも同様に接している。市職員と連携・協力している。
- ・支援団体を通じて、各階層議員と意見交換をさせてもらっている。
- ・支持したい政党がない。元国会議員の秘書をしていたのでその繋がりがあがる。
- ・政党には属していないが、産業界での交流があるため、国、県とも連携がとれている。
- ・支持母体を通じた連携ができています。

\* 19 議員活動以外の仕事の状況について、どのような仕事をしていますか。また、その仕事量はどの程度ですか。報酬の有無も併せて教えてください。（自由記載）

- ・農林業
- ・自営業
- ・家族の仕事の手伝い（週20時間程度）、社会福祉法人の理事（月5時間程度）
- ・植え付け収穫などの農繁期は行っている。年間90日程度・NPO法人のスタッフ、報酬有り、不定期
- ・家族の経営する店舗の手伝い、報酬なし、週3日程度、1日1時間程度、農作業、週3日程度、1日1時間程度
- ・学校後援会理事（毎月定例会・理事会・学校評議委員会等への出席）報酬有、月2～3回、2～3時間

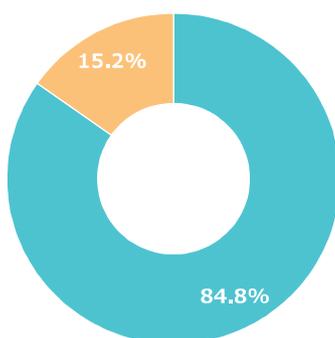
\* 20 今の自分自身の議員活動に満足していますか。（46）



■ いる	26 (56.5%)
■ いない	20 (43.5%)

「いる」と答えた人が26人（56.5%）であるのに対し、「いない」と答えた人も20人（43.5%）いることがわかった。

\* 21 自分自身の議員活動を忙しいと思っていますか。（46）



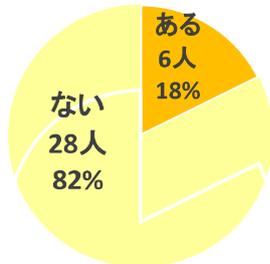
■ いる	39 (84.8%)
■ いない	7 (15.2%)

「いる」と答えた人が、39人（84.8%）おり、全体の8割を超える結果となった。

## 設問11 区ごとのクロス集計

### 11市民等から、地域の声が行政に届きにくくなったという声を聞いたことがありますか。

#### 中央区・34人



中央区では「ある」と回答したのは34人のうち6人であった。

#### 11-1 なぜそう思うのか、お書きください。（「ない」と答えた人）

- ・議員との接点が少ない市民がいまだに多く、また、市民側に議員とは気軽に話せるという感覚がない。そのため、声が届きにくくなったという声すら聞こえないと思っている。
- ・声を聞くこと。市へ繋がっていることを実感されているからではないか。
- ・以前と比べれば風通しは良い。
- ・特に聞かない。
- ・居住する地域では、自治会で解決できる困りごとの対応は自治会自ら解決する方法を知っているため、解決できないことだけ相談されていると認識している。（そうでないケースも当然あるが）
- ・相談があれば訪問をしてしっかり意見要望を聞いているため。議員が繋げることが可能で、届けようと思えば、様々な媒体で行政に声を届けることができるため。
- ・これまでの経験から、地域の声は自治会や議員を通して行政に届けてきており、ほとんどについては行政の対応を得ている。
- ・特段、その様な声を聞いていない。
- ・地域の声は、自治会からも届けているし、議員からも上げている。実施されるかされないかは別として、届けるルートはあると認識している。
- ・よく言われるのは市への要望や県営野球場の早期設置などで、声が届かないとの声はない。

#### 11-1 なぜそう思うのか、お書きください。（「ある」と答えた人）

- ・議員の数が減り、自治会単位で市議会議員が不在の地域があるため。
- ・要望事項が実らないことを含め、きめ細やかに市民の声を取り上げる機会が減少していると思う。
- ・天竜区の方から聞く。街中と中山間地域と同じように捉えられている。
- ・地域に議員が居ないためと伺った。

#### 11-2 「ある」と答えた人に伺います。その理由を議員としてどのように考えますか。

また、改善方法などについて取り組んでいることや、今後取り組みたいことなどを教えてください。

- ・区の再編に関わらず、常にある。職員がもう少し気を回したり、親身になって対応すれば変わると思う。
- ・議員に求められる資質や業務を整理し、市民と議員が共有して、市民に納得感のある必要な議員の数や報酬に調整すべき。
- ・どれ程精緻に行ったとしても、その様な声はあると思う。しかし、効果的な方法はあると考えるので、検討の必要はある。
- ・市民からの要望事項等を丁寧に拾い、議会や当局につなげる機会を増やすことが大切だと考える。
- ・公平であるために、適正な配慮が必要であるが、理解が足りていない。まずは市内の地域格差について、情報発信していきたい。
- ・確かに一部地域では、議員が選出されていないこともあり、そのような声がある事は理解できる。天竜区は現在でも定数を増やしているが、今後の議員定数の議論において、市民の声を聞き必要性を考えながら、検討していく。

### 11の設問に関する自由記載欄（「ない」と答えた人）

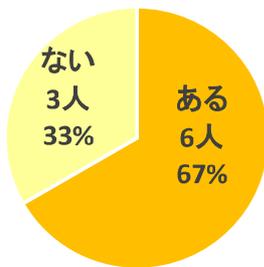
- ・本来であればSNSなどで発信をしている方が多くいるため、メッセージやコメント欄など様々な手段で議員に声を届ける、また、市民自身のSNSで賛否を書き込むことができるため、声は届けずとも上げやすくなっていると思う。
- ・県や国へ声を届けることが必要。
- ・地域活動に参加する中で、意見要望を吸い上げる機会が多く、25年の議員活動は名前も覚えられ、意見要望が直接届けられるケースが多い。

### 11の設問に関する自由記載欄（「ある」と答えた人）

回答なし

### 11市民等から、地域の声が行政に届きにくくなったという声を聞いたことがありますか。

#### 浜名区・9人



浜名区では「ある」と回答したのは9人のうち6人であった。

#### 11-1 なぜそう思うのか、お書きください。（「ない」と答えた人）

- ・私が直接届けるから。
- ・「声は届かなかったけれど、今回はこのような機会をもらえて、聞いてもらえたから良かった。」という声はあるが、届きにくくなったという声は聞いていない。

#### 11-1 なぜそう思うのか、お書きください。（「ある」と答えた人）

- ・私の地元は、合併前、役場があり、さらに町会議員が17人いた。その後区役所となり、議員も3人となった。町の為に業務をこなしていた職員と議員が浜松市全体の業務をこなすことになり、きめ細やかで隔々まで目の届く行政サービスが変化していった。現在は町の議員は1人となり、過去を知る人にとっては、そう思うことが多いのではないかな。
- ・市が大きくなり身近な行政施設に地元固有の状況を把握しきれていない行政マンが赴任されることがあるので相談しにくる市民にとっては以前にくらべレスポンスが悪くなった。また、大きな市になったことにより全市での平等という名のもと地域性が失われたため。
- ・道路、排水、河川など被害に直結する課題が解決していない。以前は職員の数も多く、寄り添っていた。
- ・12市町村合併により、議員が約5分の1になり、地域の議員という感覚が薄れてきているからではないか。（このように感じられているのは、ご年配の方に多いと感じる）。
- ・市民の声を届ける議員が少ない。
- ・高齢者は、SNS等の扱いに不慣れなこともあり、直接対話を望んでいる。

## 11-2 「ある」と答えた人に伺います。その理由を議員としてどのように考えますか。

また、改善方法などについて取り組んでいることや、今後取り組みたいことなどを教えてください。

- ・浜松市と合併したことのメリットもある。このことを市民に説明するとともに、自分自身が地域の議員として、できる限り地域の声を行政に届けるつもりである。
- ・地域性があることを行政に訴えて地域特有の制度を取り入れてもらうように訴えているし今後も訴える。
- ・職員の代わりに寄り添って、一緒に解決策を考える。
- ・まずは、中学校エリアは地元として責任持って動き、そのように感じられないよう発信、ふれあい、行動することが必要。また、市民の方から認知してもらえるよう、姿や行動が「見えること」が大切で、そのように努力したい。
- ・今の議員の活動量は限界に近い。解決するためには議員を増やすことも必要。
- ・依頼人と会い、道路関係の問題は「いっちゃお」で対応。その他の要望については、紙ベースでも良いことを伝えながら内容概略を聞き取り（以後は紙で連絡を依頼）、自治会長へ連絡している。

## 11の設問に関する自由記載欄（「ない」と答えた人）

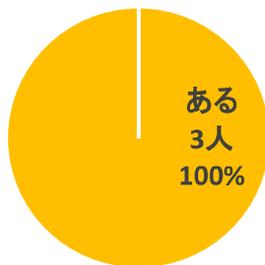
回答なし

## 11の設問に関する自由記載欄（「ある」と答えた人）

回答なし

## 11市民等から、地域の声が行政に届きにくくなったという声を聞いたことがありますか。

### 天竜区・3人



天竜区では3人全員が「ある」と回答した。

## 11-1 なぜそう思うのか、お書きください。（「ある」と答えた人）

- ・合併により、市域が更に広くなり、役所が身近に感じられな区なり、サービスが受けにくい。
- ・自治会長や住民から直接の意見として聞き、確かにその通りだと思った。

## 11-2 「ある」と答えた人に伺います。その理由を議員としてどのように考えますか。

また、改善方法などについて取り組んでいることや、今後取り組みたいことなどを教えてください。

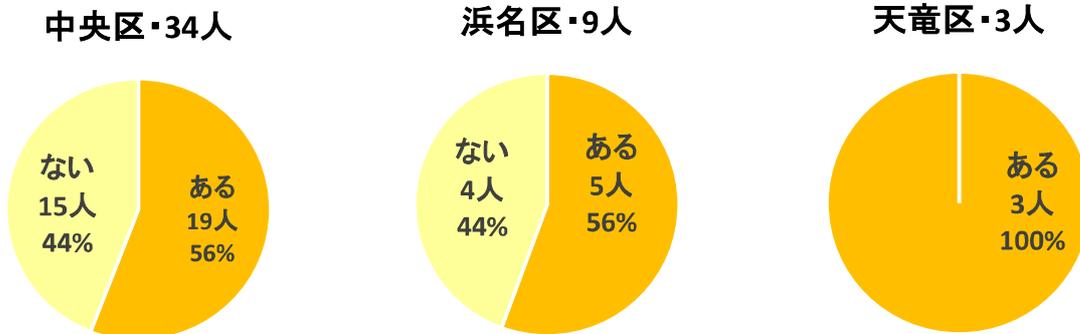
- ・特に旧合併町村の行政職員が減少したことや、旧役場において完結できない行政課題が少なくないこと。
- ・県移譲が多くなり、十分な予算確保が出来ない。結果、住民の声に答えられない。地域が求める必要な事業を確実に進行。
- ・大合併によって身近な旧市町村の職員が激減したこと。組織の統廃合による。地域と住民と現場を熟知した職員を育て、配置すること。市政レポートを毎週発行しており、さらに充実させていく。

## 11の設問に関する自由記載欄（「ある」と答えた人）

回答なし

## 設問12 区ごとのクロス集計

### 12 市民等から議員活動がわかりにくいという声を聞いたことがありますか。



中央区では「ある」と回答したのは34人のうち19人であり、浜名区では9人のうち5人であった。天竜区では3人全員が「ある」と回答した。

#### 12-1 「ある」と答えた人に伺います。議員としてどのように受け止めていますか。また、その理由をどのように考えますか。また、改善方法などについて取り組んでいることや、今後取り組みたいことなどを教えてください。

- ・発信と説明責任が必要。
- ・市政レポートの毎週発行を続け、さらに多くの住民に届くように工夫し、SNSでの発信を増やす。
- ・申し訳なく思う。また、市議会の議員定数はもとより、再編前の旧区の議員数も知らない、議員が何をやっているか分からないなどの話を何度も伺ったことがあるため、そのような声があることに納得する。個人・市議会としては、議員活動や議会に関心を持ってもらうための工夫が必要であると思う。個人としては、繋がりが薄い所へ向けるように働きかけを行っていきたい。市議会としては、市政報告会を行えるようにしたい。
- ・地域活動だけが、議員活動では無いと思う。
- ・発信力が不足していることは反省し、改善点として広報の頻度をあげる。
- ・SNSも様々な媒体を用い、さらにブログで発信するようにした。
- ・議員活動と自治会活動、地域活動の違いが共有されていない。
- ・議員は日ごろ何をしているのかを聞かれたことがあり、理由としては直接関わっている時以外は議員の活動のイメージが湧かないためと思われる。そのため、その後SNSで情報発信をして、議員の日常の活動を広く伝えるように取り組んでいる。
- ・議会基本条例に基づく議会活動が行われていない表れだと考えている。議会として市政報告会などを実施する必要がある。
- ・市議会議員は議会質問の時は新聞に掲載されるが、ほとんどが報道されない。国会は見えるが、地方議会の弱点と考える。
- ・コロナ禍の時に、集会等が減り発信力の低下があった。現在は、地域活動やイベントに参加し、市政情報及び議員活動を報告している。
- ・様々な機会を捉えて、議会（議員）から発信するツールを増やして、議会活動をお知らせしていく必要があると思う。
- ・地域のイベントで見かけるだけで、具体的な仕事を知らない。そもそも興味がなかったという声が聞かれた。まだまだこちらの広報に課題があると強く感じるとともに、どのような方法が一番効果的なのか様々な手段を駆使して市政報告をしているところである。今後は、SNSはもちろん、もっとアナログな報告なども取り入れたい。
- ・議会としての情報発信が十分ではない。また、主権者教育が十分ではない。議会として、情報発信、主権者教育、市政参加の取組が必要だと思う。
- ・議員個人や議会からの広報を強化することが必要。
- ・活動内容がわかりにくいと言われることに対して申し訳なく思うが、万人に届けることは難しく感じる。
- ・SNS等で個別に広報活動をする。
- ・広聴広報活動が十分ではないと受け止めている。今後充実させていきたい。
- ・議会としての市政報告の必要性、個人としては、SNSの活用を増やして、活動報告をしていく。
- ・発信不足、SNSでの発信を続けているが、浸透することは難しい。今後は、youtube番組を持ちたい。
- ・区域が広く、各地域事情の多様性への対応が難しく、また、時間も限られる。地域要望の実現と中長期的な政策立案の推進が必要。

## 12-2 「ない」と答えた人に伺います。そうした声があった場合の対応などをお書きください。

- ・意見交換の場を設ける。
- ・広報誌等を渡し、しっかり伝える。
- ・丁寧に活動について説明をする。
- ・会報をお渡ししてご説明させていただいている。また市政報告をしている。
- ・全く「ない」というわけではないと思うが、多くの人はSNSやインターネットで情報を得ているので、議員の活動状況は大体把握していると聞いている。
- ・普段の対話が重要と思い、携帯電話等への連絡を促しており、連絡後に面談している。
- ・丁寧な説明が必要。
- ・しっかりと市政情報を広報する。自分の声で議員活動を伝える。
- ・身近な存在になること。
- ・活動内容を説明する。
- ・声があった理由を聞き、改善していく。
- ・様々な活動を通じて少しでも市民と触れ合う機会を多くする。
- ・その都度、詳しく説明をしている。
- ・何を知りたいか確認は必要。市民によって知りたいことには違いがある。

## 12の設問に関する自由記載欄

- ・市民の市政への関心を高めるために、どう発信をしていくかは、議員個人だけでなく、議会全体でも考えていかなくてはならないと思う。
- ・そもそも、議員活動は市民にとっては日常的ではないので目には止まらない事が多いと思う。議員側で毎日情報発信していても、支持者等は常に意識をして知る機会が多いが、議会活動に関心が低い市民に「活動がわかりにくい」と言われても、改善する術はないのではないかと。知ろうとするとところにしか理解が進まないと思う。

議員活動を把握するためのアンケート設問（最終）

【調査時点：令和6年5月1日】

〔属性〕

No.	内 容
1	性別 ①男 ②女
2	年齢 ①30代 ②40代 ③50代 ④60代 ⑤70代
3	居住区 ①中央区 ②浜名区 ③天竜区
4	通算議員歴（合併前を含む） ①1～4年 ②5～8年 ③9～12年 ④13～16年 ⑤17～20年 ⑥21～24年 ⑦25～28年 ⑧29年以上
5	兼業の有無 ①あり ②なし

〔設問〕

No.	内 容
1	議員として、主な活動範囲を教えてください。 ①市域 ②区域 ③区域の一部（地区） ④中学校区 ⑤小学校区 1-1 具体的な範囲の面積と人口について、おおよそ記載ください。 ( )
	自由記載欄
2	議員として、政務活動時間はどのくらいですか。 ※時間はおおよそで構いません。 注) 議員としての政務活動の定義 議会・委員会に関する業務・研究、市議会議員の政務活動としての勉強会や視察、調査研究活動、市議会議員として呼ばれる各種公的機関の行事や市議会議員としての地域要望への対応を指す 〔平日〕 ①4時間以内 ②5～6時間 ③7～8時間 ④9～11時間 ⑤12時間超 〔土日祝〕 ①4時間以内 ②5～6時間 ③7～8時間 ④9～11時間 ⑤12時間超
	自由記載欄
3	議員として、政治活動時間はどのくらいですか。 ※時間はおおよそで構いません。 注) 議員としての政治活動の定義 党務や支援団体（労組、後援会など）の延長で行なっている活動を指す 〔平日〕 ①4時間以内 ②5～6時間 ③7～8時間 ④9～11時間 ⑤12時間超 〔土日祝〕 ①4時間以内 ②5～6時間 ③7～8時間 ④9～11時間 ⑤12時間超

自由記載欄	
地域活動等は年間何日行っていますか。また、月平均時間を分かる範囲でお答えください。 ※日数はおおよそで構いません。	
4	注) 地域活動等の定義 1 地域活動：地域住民として活動しているボランティアや地域コミュニティ団体の活動を指す 2 その他：非常勤の公務員活動（保護司、消防団、審議会委員、CSなど）を指す
	年間（ ）日 月平均（ ）時間
4-1	それはどんな活動ですか。以下の分野からお答えください。（複数回答可） ①自治会 ②社会福祉 ③清掃 ④自主防災 ⑤消防団 ⑥防犯 ⑦子育て支援 ⑧学校関係（PTA等） ⑨交通安全 ⑩動物愛護 ⑪自然保護 ⑫環境美化 ⑬スポーツ振興 ⑭地域イベント ⑮災害ボランティア ⑯学習支援 ⑰外国人支援
自由記載欄	
5 設問2～4の活動がない休息日は、月にどのくらいとることができますか。	
	①0日 ②1～4日以内 ③5～8日以内 ④9日以上
自由記載欄	
6 議員として重きを置いて取り組んでいることはありますか。	
	①ある ②ない
6-1	「ある」と答えた人に伺います。その取組テーマは何ですか。 （上位3つまで回答可能）
	①子ども ②福祉 ③環境 ④道路・河川 ⑤農林水産業 ⑥学校教育 ⑦人権 ⑧消防・防災・防犯 ⑨文化・スポーツ ⑩芸能・芸術 ⑪動・植物 ⑫過疎 ⑬観光CP ⑭上下水道 ⑮健康・医療 ⑯まちづくり ⑰労働・雇用 ⑱公共交通 ⑲地域活性化 ⑳行財政 ㉑国際交流 ㉒生涯学習
自由記載欄	
7 市民や企業・団体等と意見交換の機会を設けていますか。 注) 意見交換は、議員個人及び会派として行うもののみとする	
	①設けている ②設けていない
7-1	「設けている」と答えた人に伺います。そうした機会は、どのくらいありますか。
	①年に1回 ②年に複数回 ③月に1回 ④月に複数回 ⑤週に1回 ⑥週に複数回
7-2	「設けている」と答えた人に伺います。主に対象は誰ですか。（複数回答可）
	①支援者 ②自治会関係者 ③若者（学生を除く） ④学生・生徒・児童 ⑤主婦・主夫 ⑥企業 ⑦団体 ⑧その他（ ）
7-3	「設けている」と答えた人に伺います。そのときのテーマや内容を教えてください。（複数回答可）
	①議員活動 ②市政情報 ③地域課題 ④相談聴取 ⑤意見交換
自由記載欄	

8		設問7以外の方法で、議員活動を情報発信していますか。
		①している ②していない
8-1		「している」と答えた人に伺います。活用しているツールを教えてください。(複数回答可)
		①広報紙 ②SNS ③会報 ④折り込み広告 ⑤ラジオ放送 ⑥テレビ番組 ⑦街頭演説 ⑧その他
自由記載欄		
9		市民等からの相談はどのくらいありますか。
		①ほぼ毎日 ②週に数回 ③月に数回 ④年に数回 ⑤ほぼない
9-1		相談がある時は、どんな内容が多いですか。(複数回答可)
		①福祉 ②ごみ ③道路 ④環境美化 ⑤教育 ⑥地域交通 ⑦防災 ⑧防犯 ⑨子育て ⑩空き地・空き家 ⑪地域イベント ⑫動・植物 ⑬騒音 ⑭不法投棄 ⑮文化財 ⑯スポーツ ⑰上・下水道 ⑱消防 ⑲医療 ⑳税金
自由記載欄		
10		市民等からの相談がきっかけとなり、市に対する要望・請願・陳情・改善・政策提言・議会質問・委員会質疑につなげたことがありますか。
		①ある ②ない
10-1		「ある」と答えた人に伺います。それは、どれくらいですか。
		①1回 ②複数回 ③十数回 ④二十回以上
10-2		「ある」と答えた人に伺います。それは、どんな内容ですか。(複数回答可)
		①福祉 ②ごみ ③道路 ④環境美化 ⑤教育 ⑥地域交通 ⑦防災 ⑧防犯 ⑨子育て ⑩空き地・空き家 ⑪地域イベント ⑫動・植物 ⑬騒音 ⑭不法投棄 ⑮文化財 ⑯スポーツ ⑰上下水道 ⑱消防 ⑲医療 ⑳税金
自由記載欄		
11		市民等から、地域の声が行政に届きにくくなったという声を聞いたことがありますか。
		①ある ②ない
11-1		なぜそう思うのか、お書きください。
		( )
11-2		「ある」と答えた人に伺います。その理由を議員としてどのように考えますか。また、改善方法などについて取り組んでいることや、今後取り組みたいことなどを教えてください。
		( )
自由記載欄		

12	市民等から議員活動がわかりにくいという声を聞いたことがありますか？
	①ある ②ない
12-1	「ある」と答えた人に伺います。議員としてどのように受け止めていますか。また、その理由をどのように考えますか。また、改善方法などについて取り組んでいることや、今後取り組みたいことなどを教えてください。
	( )
12-2	「ない」と答えた人に伺います。そうした声があった場合の対応などをお書きください。
	( )
	自由記載欄
13	住民の代表として、その役割を果たしていると思いますか。
	①大いに果たしている ②概ね果たしている ③あまり果たしていない ④果たしていない ⑤努力はしている ⑥わからない
	自由記載欄
14	住民代表として役割を果たすために、心がけていることを上位3つあげてください。
	①個別相談に応じる ②地域活動に協力する ③地域課題を把握する ④地域課題を解決する ⑤住民から意見を聴き取る ⑥住民と行政の橋渡しをする ⑦地域を活性化する ⑧情報を積極的に発信する ⑨その他
	自由記載欄
15	今後、浜松市議会が積極的に取り組まなければいけないことは何だと思いますか。(複数回答可)
	①市に対する監視機能の強化 ②市政への活発な政策提言 ③議会の政策立案機能の充実 ④議会改革の徹底 ⑤広聴・広報機能の充実 ⑥コストの削減
	自由記載欄
16	議員報酬と活動時間について、どのような考えを持っているか教えてください。
	( )
	自由記載欄
17	政務活動費についてどのような考えをもっているか教えてください。(金額や使用できる政務活動の範囲についての考え)
	( )
	自由記載欄
18	政党に所属していますか。
	①いる ②いない

	18-1	「いる」と答えた人に伺います。その理由と、党務の量について教えてください。
		( )
	18-2	「いない」と答えた人に伺います。その理由と、国・県や他地域の議員などとの連携方法を教えてください。
		( )
自由記載欄		
19	議員活動以外の仕事の状況について、どのような仕事をしていますか。また、その仕事量はどの程度ですか。報酬の有無も併せて教えてください。	
	〔記載例〕 自営業（家族経営の店舗）・報酬有 週に3日程度 1日2時間程度 ( )	
自由記載欄		
20	今の自分自身の議員活動に満足していますか。	
	①いる ②いない	
	20-1	「いない」と答えた人に伺います。その理由を教えてください。
		( )
自由記載欄		
21	自分自身の議員活動を忙しいと思っていますか。	
	①いる ②いない	
	21-1	なぜそう思うのか、お書きください。
		( )
自由記載欄		